

山科教会ニュース

2020年 6月 第352号

聖霊は本当に大切なものを少しずつ教えながら私達を導きます。

司祭 菅原 友明

5月のトピックス

● 第54回「世界広報の日」にフランシスコ教皇様からメッセージ

5月17日は「世界広報の日」でした。フランシスコ教皇様が物語をテーマにメッセージを送ってくださいました。そのメッセージについて、菅原神父様よりコメントをいただきました。

物語を生きる私達 ～世界広報の日教皇メッセージから～

洛東ブロック担当司祭 菅原友明



今年の世界広報の日に、フランシスコ教皇様が、情感あふれる印象深いメッセージを送ってくださいました。

教皇様はおっしゃいます。「人間は物語る存在です。私達は子どものころから、食べ物を欲するのと同じように、物語を欲します。」私達が生きるためには、物語が必要なのだということで、本当にその通りだと思います。そして、教皇様は、人間が衣服を必要とする唯一の生き物であることを指摘され、「私達は衣だけでなく、物語も織り上げます」と語ります。私達は日々いろいろなことを体験しますが、コンピュータのようにそのすべてを機械的に記憶するのではなく、自分だけの物語を編みながら、そして、編み上げた物語から力をくみ取りながら生きていきます。まさに物語とは食べ物に重ね合わせることができるはず。そして、日記をつける習慣がある人は経験されているかも知れませんが、自分の過去である日記を読むとき、それだけで過去の物語が変わり、現在と未来が変わっていきます。自分の過去は、永久に固定された頑なで不変のものではなくて、自分の歴史の中で後に新たに体験された出来事と、新たに結ばれて、織り合わされて、新しい物語へと再編集されていくからです。イスラエルが旧約聖書という長い長い物語を残していった価値と意味もそこに見いだせる気がします。聖書の物語は過去の出来事ではなくて、今の私の出来事と一緒に、新しく織り合わされて、こうして、私を生かす物語がいつでも何度でも紡ぎ出されていきます。そして、それこそ、今と未来の私を変える力を持っています。聖書は、



いつも今の私を新しく変えていく、生きている書物だと言えます。（世界広報の日教皇メッセージはカトリック中央協議会のホームページでご覧になれます。 <https://www.cbcj.catholic.jp/>）

※第54回「世界広報の日」教皇メッセージは、聖堂入口掲示板にも掲示しています。

● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動自粛を継続

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染症の拡大防止のため5月もミサ（集会祭儀）等 教会活動を全て休止、聖堂の閉鎖も継続しました。ミサに集えない苦しみのなか、皆さんに状況をお知らせするため、聖堂入口（外側）の掲示板に毎週のお知らせを掲示するとともに、連絡網や山科教会ホームページで情報を発信しました。

また、皆さんの心の支えになればと、「聖書と典礼」と共に教区時報、教会ニュース等の配布物を、名簿を元に各ご家庭に郵送しました。



扉の閉まった聖堂

役員会、評議会からのお知らせ

<京都司教区からの通知>

☆新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために、ミサ等の教会活動を休止していますが、司教区より再開について条件が示されました。

新型コロナウイルス感染症について ミサ等の再開の措置(その5) 2020年5月17日

1. 主日のミサ参加義務の免除

新型コロナウイルス感染症が終息するまで当面の間、京都司教区のすべての信徒に、主日のミサに参加する義務を免除します。

2. 緊急事態宣言が解除された地域でのミサ等、教会での活動再開の決定

①ブロック毎にブロック担当司祭は、以下の2つの感染状況を踏まえ、ミサ等の再開をそれぞれの教会の状況、構造によって、段階的に決定する。

(1)過去2週間、ブロックか、小教区がある地域(府県あるいは市町村)で感染者が確認されていないこと。

(2)地域の自治体が、外出規制を緩和していること。

同一ブロック内であっても、小教区がある地域の感染状況によって、再開時期は異なってもよい。

②ブロックのモデラートル司祭は、教区本部事務局と事前に相談し、決定の許可を得ること。

③感染者が担当地域で続いて(2~3日)確認された場合、ミサ等を中止とする。

3. 教会でミサや集会を行うときに守るべき要件

ミサ(集会祭儀)・集会・講座等を行うときは、政府が公表している「新しい生活様式」から、感染防止の3つの基本:①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いと、「3密」の回避(密集、密接、密閉)を守るため、別紙の「ミサ等、集会を行うときの守るべき要件」(Kyo.Prot.N.56/2020)を確実に満たしてください。

4. 葬儀、結婚式

葬儀や結婚式は、担当司祭・関係者と十分な感染防止対策について相談の上、上記の「要件」を満たして、行ってください。感染者が確認されている地域では、「ミサ等の休止および今後の措置(その4)」(Kyo.Prot.N.44/2020)に従ってください。

☆司教区では、ミサ等、集会を行うときの守るべき要件を具体的に示しています。活動再開後はこの要件を守り、「感染の再拡大」の防止に努めます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

コロナウイルス感染対策のために ミサ等、集会を行うときの守るべき要件 (Kyo.Prot.N.56/2020)

京都司教区では、各ブロックで、主日ミサ(集会祭儀)・集会・講座等を再開するとき、政府が公表している「新しい生活様式」から、感染防止の3つの基本:①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いと、「3密」の回避(密集、密接、密閉)を守るため、以下の要件を確実に満たしてください。

それぞれの教会の状況、構造によって、段階的にミサ等の再開について工夫をお願いいたします。

1. コロナウイルス対策全般

①聖堂・集会室は、使用前に、次亜塩素酸消毒液・アルコール消毒液などで、ドアノブ・座席・机などを消毒する。使用後も、同様に消毒を行う。

②聖堂・集会室の出入口に、参加者のために消毒用のアルコール等を設置し、確実に消毒を行う。

③聖堂入り口の「聖水盤」を使用しない。

④聖堂・集会室は、密閉を避け、部屋の大きさに合わせて、通年を通して換気を行う。

⑤参加者は、1)マスクを着用し、2)間隔をできるだけ周囲2mを空け(座る席を指定する等)、3)飛沫感染を防ぐため、大声での歌唱や会話を控える。

⑥体調に不安のある高齢者、基礎疾患(糖尿病、心疾患、慢性閉塞性呼吸疾患や喘息、抗がん剤治療、免疫疾患)のある人、また風邪症状がみられる場合は参加を控える。

⑦集会(講座、教会学校など)は、1時間以内とする。

⑧集会時の飲み物を除き、食事の提供、会食を伴うパーティなどを行わない。

2. ミサの奉納と聖体拝領について

①ミサ中のホスチアとぶどう酒(水)の奉納は行わない。

②ホスチアとぶどう酒は、あらかじめ祭壇近くに用意しておく。

③ホスチアは、チボリウム(テカ)に必要数を入れ、蓋をして準備する。ミサ中も蓋しておく。

- ④「平和のあいさつ」は、握手や抱擁はしないで、互いに礼をしてあいさつを交わす。
- ⑤司祭、集会司会者、聖体授与の臨時の奉仕者は、聖体拝領の前に、手を消毒する。拝領者も、拝領前に手を消毒できるように工夫する。
- ⑥司祭は、聖体を奉挙して、「キリストの御からだ」と言い、会衆は一同で「アーメン」と唱える。個別に聖体拝領する際、司祭は無言で聖体を渡し、信徒は無言で受け取る。
- ⑦パンとブドウ酒の両形態の拝領はできない。
- ⑧口(舌)での聖体拝領は控え、手で拝領すること。
- ⑨ミサ(集会祭儀)の時間を短くするため、また飛沫感染を防ぐため、当面の間、聖歌は歌わない。但し、答唱詩編とアレルヤ唱のみ、先唱者が歌うことができる。

3. 病者の聖体拝領について

病者の聖体拝領が必要な場合は、ブロック担当司祭の指導にしたがって、上記の感染しないための要件を守ること。

☆司教区が「新型コロナウイルス感染症 ミサ等の再開の措置(その5)」について、補足説明をされました。

新型コロナウイルス感染症 ミサ等の再開の措置(その5)についての補足説明(PROT.N.KDO.47-2020) 2020年5月16日付けで出された、「新型コロナウイルス感染症 ミサ等の再開の措置(その5)」について、説明を求める意見が多数ありましたので、解説を出すことにいたしました。すべての内容を網羅しているわけではありませんが、基本的な考え方を説明していますので、現場での判断の、ご参考にいただければと思います。

1) 新型コロナウイルス感染症の終息

ここで言われている「終息」とは、ワクチンやその他の薬が開発され、もはや、コロナウイルスが毎年流行するインフルエンザ並みの疾病になった状況を指します。

2) 主日のミサ参加義務の免除

よって、新型コロナウイルス感染症が終息するまで、京都司教区のすべての信徒は、主日のミサに参加するいかなる義務もありません。仮に感染症が一時的に収束(感染者減少と安定期に入ること)し、ミサを行うことにした場合、細心の注意を払っても、感染のリスクをゼロにすることは出来ません。担当司祭およびすべての信徒の皆さんには、“ミサを行うことは感染のリスクを負うことになる”ということを、意識くださるようお願いいたします。ですから、ミサに参加することで感染のリスクを負う不安、心配がある場合、教会の中で如何なる役割を担っていたとしても、ミサの参加を控える自由と権利があります。同時に、ミサへの参加を誰も強要することは出来ません。また、ミサへの参加を控えることによって、イエスさまの恵みが欠けることもありません。

3) ミサ等の教会活動を再開する条件と停止する要件

緊急事態宣言が解除された日から、担当地域(府県あるいは市町村)において、2週間感染者が出ていないことを条件に、ミサ等の教会活動を段階的に再開することが出来ます。これは可能性であって、指示ではありません。あくまでも、各自が感染のリスクがあることを理解したうえでの、任意の自発的な活動であることをご理解ください。現場の状況、判断によって、再開をしないという選択もあります。活動再開後、担当地域において、新たに感染者が1人であっても、連続して2~3日確認された場合は、活動を即座に停止してください。その後、新たに2週間、感染者が出ないことが確認された場合、活動を再開することができます。

4) 主日のミサ(集会祭儀)を行う場合の適応

京都司教区はこの非常事態において、主日のミサを行う場合、新しい生活様式に基づいて、三密をさけるため、信徒の分散をお願いしています。ブロックあるいは小教区において、要件を満たしたうえで、ミサを行う判断をした場合、平日(月~土曜日)にも主日のミサを行うことを大塚司教から許可されています。また、同じ教会において、同日にミサと集会祭儀を行うことの許可も得ています。現場での信徒の参加のために、分散の工夫をお願いいたします。また、参加できる人数は限られてくるために、所属小教区以外のミサに参加することはしないでください。尚、週日のミサについて実施は、要件を守りながら現場での判断にお任せいたします。

5) 新しい教会共同体のあり方の模索

ミサや諸秘跡は教会共同体のためにあるのであって、ミサや諸秘跡のために教会共同体があるものではありません。コロナウイルス感染症のリスクがある限り、わたしたちの活動は制約を受けますが、わたしたち自身が教会共同体であることを改めて意識していただきますようお願いいたします。

この困難なときを危機としてとらえるのではなく、ブロックとしてまた小教区として、新しい教会共同体のあり方、連帯の仕方を模索していくチャンスとして捉え、ミサ・諸秘跡に拘ることなく、積極的にアイデアを出し合い、話し合うことをお願いいたします。諸秘跡は教会共同体を生かすためであって、諸秘跡のために教会共同体があるのではないことを、肝に銘じていただきますようお願いいたします。今、教会共同体が真の生きた秘跡になることが求められています。

6)意思決定の場

教会活動の意思決定の場は、原則的には小教区評議会あるいはブロック会議です。しかし、このような状況の中で会議のために集まること自体も、感染のリスクを信徒の皆さんに負わせる事になります。主日のミサ参加の義務が免除されている意味においても、担当司祭は司牧の現場において、役員・評議員の皆さんに感染リスクを負わせることがないように、最大限の配慮をお願いいたします。

教会が、四旬節以前の状態に戻ることは考えられません。すでに、第2波の到来も危惧されており、ドイツのカトリック教会ではクラスターが出ていることも報道されています。教区からのさまざまのお願いと制約は、自分だけでなく、他の方々のいのちを守るための積極的な行動であることを、ご理解ください。その上で、教区としては現場での判断を最大限に尊重し、サポートをしていきます。状況は日一日を変わっていきます。どうぞ、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。イエスさまの豊かな助けと照らしが皆さんの上にありますように、お祈り申し上げます。

<役員会、評議会からのお知らせ>

☆昨年度から懸案となっていました伝道館横の門柱改修工事を行います。門柱の施工内容の確認、門扉の仕様検討を進めており、アヴェマリア幼稚園の夏期休暇中(8月)の工事を予定しています。

☆聖堂閉鎖の解除、ミサ(集会祭儀)の再開に向けて、その対応方法について検討しています。皆さんの安全を最優先に具体的な取り決めを作り、いつ再開しても良いように準備します。

★山科教会からの「お知らせ」は、毎日曜日に更新されますので、最新の情報は山科教会ホームページをご確認下さい。また、京都司教区のホームページ(<http://www.kyoto.catholic.jp>)もご参照ください。

2020年6月の予定

6月からの再開に向けて検討が進められていますが、現時点で「6月の予定」をお知らせすることができません。6月の予定が決まり次第、聖堂入口の掲示板、毎週のお知らせ、山科教会ホームページ等でお知らせします。(<http://www.cyamach.sakura.ne.jp/>)

瀧野神父様のホームページ、菅原神父様のブログのご紹介

毎週のお知らせでもご案内していますが、神父様方がホームページやブログを開設されています。

1. 瀧野神父様が、主日のみことばについての説明をしてくださっています。

瀧野神父様のホームページ <http://www.stakino.web.fc2.com/> 「主日のみことば-FC2」

2. 菅原神父様が、毎日のミサの福音朗読についての解説をしてくださっています。

菅原神父様のブログ [くまたくんの忘れない場所](#)

動画配信(ユーチューブ) [オンラインきょうかいがっこう](#) (毎週更新)

◆緊急事態宣言は解除されましたが……

今後は、「感染の再拡大」をいかに防ぐかが焦点となります。

「3密(密集・密接・密閉)回避」を基本に、次の点を徹底しましょう。

1. 人との間隔(ソーシャルディスタンス)を確保する。
最低1m、できれば2m空ける。
2. 会話はできる限り真正面を避ける。
3. 症状がなくてもマスクを着用する。
暑い季節が到来し大変ですが、外出時には着用しましょう。
4. 帰宅後の手洗い、洗顔とうがいを徹底する。

『すべてのいのちを守るため』を常に意識し、「新しい生活様式」に皆さんで取り組んでいきましょう。

発行責任者

河原町・伏見・山科・桃山共同宣教司牧

担当司祭：瀧野 正三郎

編集：カトリック山科教会 広報部

住所：〒607-8415

京都市山科区御陵中筋町3

TEL：075-581-0719

FAX：075-581-0760

URL：<http://www.cyamach.sakura.ne.jp>